

# なかめぐろ新聞

発行責任者  
中目黒ホーム  
施設長：徳永 照美  
発行日：平成 29 年 3 月 31 日  
第 117 号

## 【施設長より】

西から桜の開花の便りが届くように、中目黒ホームの周りでも、桜のつぼみが膨らんで春の訪れを告げています。これから、心地よい日差しを楽しめる季節です。屋上には園芸ボランティアの方が手入れをされているミニ庭園があります。お天気の良い日は是非行ってみてください。

中目黒ホームでは多くのボランティアが活動しています。毎月のクラブ活動やお話し相手など直接ご利用者と関わる活動や、衣類の補修や車椅子の清掃、食事ですったカップ洗浄など生活を間接的に支える活動、様々な場面で中目黒ホームを支援してください。ボランティアと言葉を交わしているときのご利用者はとても楽しそうで、また、職員にもいろんなことを気づかせて

くれます。中目黒ホームにとってはとても必要な方々で、ボランティアの協力がなければ施設は成り立たないと言っても過言ではありません。これからも多くの皆さんに気持ちよく、永く活動していただきたいと思えます。

## 【新年会】

一月一日、新年を迎えて、ご利用者の皆さんと新年会を行いました。フロアではお正月の音楽を流し、羽根つきに見立てた「風船バレー」と、職員の事を知ってもらう「職員の出身地当てゲーム」を行いました。

風船バレーでは点数をとるごとに「自チームの職員の顔に落書きをする」というルールで行い、長くラリーが続いて盛り上がりました。

「職員の出身地当てゲーム」では

ご利用者と職員の出身地が偶然にも同じとがわかり、それぞれの地域の話題で話も弾みました。改めてお互いを知る機会になって良かったと思います。

ご利用者の皆さん本年もよろしくお祈りします。



## 【節分交流会】

二月三日、今年も中目黒保育園の園児たちと一緒に豆まきをしました。園児たちが登場した途端、一瞬にして顔がほころび「かわいいね〜」という声がそこかしこから上がりました。次に大人の鬼が登場すると園児たちが元気いっぱい「鬼はー外！」と豆を投げつけ、利用者の皆さんも一緒になって鬼を追い払いました。



## 【桃の節句】

桃の節句に合わせて利用者の方とお雛様を飾りました。七段飾りの豪華なお雛様に、「素敵ね」、「懐かしいわ」という声が聞こえてきました。三月二日のおやつは甘酒でした。お椀に入った甘酒に歓声が沸き、「美味しいわ。好物なので嬉しいわ」と、皆さんで和やかにいただきました。



## 【ホームレストラン】

三月二十六日にホームレストランを開催しました。

今回は十組、十八名のご家族と十名のご利用者が参加され、とても賑わっていました。会話に花も咲いて、家族団欒のひとつきを過ごされています。

ホームレストランは毎年、十月と三月の家族懇談会に合わせて開店しています。皆さん、是非ご来店ください。お待ちしております。

